

【第10回ABCプラットフォーム人材育成・活用部会セミナー&情報交換会】

開催日時：2020年11月10日（火）ブレイクアウトセッション

<<第1グループ>>

今回の議題は「留学生から日本企業への要望」であったが、本グループには留学生の参加者がいなかったため、新型コロナ以降、各メンバーの自己紹介、現況について意見交換を実施。

▶南日南日本語学院 山本様（ベトナム）

日本への渡航解禁を学生は今か今かと待っている。新型コロナの不安よりは、日本への期待の方が大きい。ただ、日本人の「本音と建て前」など、コミュニケーションに不安を持つ学生はいる。「YES・NO」をはっきり言って欲しい。

▶タイ国スィーパトゥム大学 大森様・高橋様（タイ）

学生を日本へ送り出す際、身だしなみや敬語について言及している。

タイ人に対して日本側がどのような印象を持っているか知りたい

▶株式会社グローバルトラストネットワークス 安田様

15年前、留学生が部屋を借りにくい状況があり、入口から出口までを一括保証するサービスを設立。2030年までに海外拠点を30カ所に増やす計画

▶穴吹学園 大場様・井上様

インド担当者：インドの状況

1. 日本はインド人にとって働きたい国の一つ
2. 日系企業での就職希望者多
3. ITエンジニアの育成
4. 人口が多すぎて国に仕事がない

▶ユタカ交通 豊田様

介護職にフィリピン人労働者が多い。友人から友人へと紹介が広がる。

熱心な人が多い。韓国の留学生などは言葉や文化のニュアンス、レベルが高く、本社中枢で働く人材もいる。

▶One World Japanese Language Centre Inc. 中津様（フィリピン）

以前は言葉の点から英語圏に働きに行く人が多かった。最近は時差、距離、体型の近い日本へ介護で行く人も増えた。もともと海外就労者が多い国。今回の給付金支給の事が話題となり、日本人気が高まるかも？

▶大阪府国際交流財団 OFIX 戸梶様

マイクの調子が悪く、コメントが聞けず。堺市にある留学生会館のご紹介だけ聴き取れた。

▶WA・SA・BI Agung 様

時間の都合でコメントできず

▶中央工学校 OSAKA 大串様

今回のコロナにより、学生が就職への希望が持てなくなり、モチベーションが下がっている。次年度実

施予定のインターンシップを前倒しで行うなどし、学生の就職への意識が保てるよう学校としても努力中。

<<第2グループ>>

▶エール学園 レティフォンタオさん（学生）

来年3月に就職、なかなか面接まで行かない

希望の職業、競争が激しい。専門学校だから弱い？書類選考で断られた。断られた理由がわからない。物流・貿易の会社。

貿易・ロジスティックに関して応募してみても？というアドバイスもでる。

面接、リアルな出会い。機会をたくさんもけることが大事。応募する前に西村先生に相談する。

▶アイコンホールディングス様

リフォーム事業などを展開している。元々技人国を持っていた学生を採用。N1を持っているが大阪弁、高齢者の対応に苦労した。ブルーカラー現場色に切り替えを考えていた本人の諸事情によってビザの切り替えがうまくいかなかった。今後技術職・家事手伝い。電気通信などの技術。

▶光志福祉会様

四国・介護事業を運用されている。グループホームデイサービス児童デイサービスを運用240名の職員。2年前より留学生・実習生、ベトナム、フィリピンなど。介護職員を確保。50所あるが半数しか集まらなかった。日本人の採用4名を内定。ワンデイ、体験連携をしている。

▶西中医学会様

4人の留学生。介護福祉士を取得。配偶者、技人国、育休。特定技能に切り替える。海外の人材も分け隔てもなく対応している。介護の在留資格を目指してもらっている。

▶松居様

ビジネスコーチ、ボランティアで今後はやっていこう。日本語を無料で教えていく。個人で海外の方のサポート。

▶ILOHA Culture Centre（マレーシア）

日本の文化や日本観光に行った際に日本語で話をしたい。日本に留学したい人は週5日間勉強されている。オンライン授業、ほとんどの生徒がオンライン授業で対応できている。クアラルンプール以外の地方から参加する学生が増えている。コロナのおかげで幅広く対応ができるようになってきた。来年になれば入国できる。転勤した人材が海外からオンラインで参加される方も増えている。

▶アスク出版 大坪様

書類選考が通る勉強の仕方など

関東にいる、定期的に関西出張をしている。外国人のための日本語教材を作っている。介護分野の日本語教材、ビジネスマン向けの日本語研修などオンラインで実施している。

▶ダイワアカデミー

コロナの影響で学生が入国できない。途中でキャンセルする学生も出ている。入国緩和されたので少しずつ入ってきている。もっと安心してもらえると思う。今年の就職の希望の学生は難しい。インターンシップの後でも内定がもらえなかったり、キャンセルも起きている、ホテル観光の仕事が軒並みアウトになっている。内定が決まっても給与の6割など。正社員だけではなく、まず派遣という選択肢も。旅行会社宿泊の会社、就職が厳しいが部品の製造会社、通訳どのニーズに合わせる。

▶大阪観光局 山口様

留学生支援コンソーシアム大阪

学校交流のお手伝いを昨年まで実施されていた。留学生支援コンソーシアム大阪を本年度よりオープン。大阪が留学生から魅力ある都市と選ばれるようにしていきたい。11月19日コンソーシアム。つながることでできることをやっていきたい。エール学園から2名インターンシップ。就職がなかなか難しい。ネットワークができるようになった。出会いの場には積極的に参加していただきたい。

▶京都民際日本語学校 鶴岡様

入国管理局 特定技能のマッチングイベント。特定技能に対する魅力がない？タオさんに質問→特定技能は進みたくない。第一の希望、専門学校で学んだことを活かしたい。特定技能は第2希望。特定技能はデメリットも出てくる。

<<第3グループ>>

テーマ：外国人材を受け入れる際に日本人が変わっていくべき点

- ・指示を曖昧にしないで、仕事の進め方や期日などをハッキリと伝える。(5W1H)
→また学校側では日本人社員とのコミュニケーションで起きる問題を想定して指導することも大事。
- ・日本人社員に対して「やさしい日本語」で外国人社員とコミュニケーションをとれるように研修などを行う。
→日本語のできる外国人社員を入れてマニュアルなどを全て母国語で翻訳することも大事だが、仕事を進めていく上で日本語でのコミュニケーションをとることも大事である。
- ・入社間もない外国人社員が集まれる場の提供
→外国人社員が入社したばかりのころは日本語力や日本企業での就業に大きな不安を抱えることが予想されるので、入社して1年ほどの外国人社員が集まれる機会をつくりサポートできる機会があればよいのではないか。
- ・外国人社員同士の衝突
→ダイバーシティ化が進む中で入社する外国人社員の国籍も多様になってきている。入社する外国人社員の国籍が違えば、文化や宗教、価値観の違いで問題が起きることも予想されるので、そうした時に日本人社員が彼らにどう対応していくか検討する必要がある。
- ・地方企業での外国人材のニーズ
→都市部とは生活に関わるルールなどが大きく違うので、入社前の説明はわかりやすく丁寧に行う必要がある。また初めて外国人社員を入れる企業の日本人社員に対してトラブルシューティングをあらかじめ準備しておくことも大事である。

<<第4グループ>>後半聞き漏らしている所が数箇所あります。全ての皆様の発言を記録できず申し訳ありません。(上堀)

テーマ：日本人がかわるべきポイントについて、来日当初でこまったこと、
ここがこうなったら外国人が働きやすくなるのではないか、などあるか。

(畑ダイカスト工業 畑様)

▶羽衣国際大学現代社会学部現代社会学科 ミーさん

文化の違いからの原因かもしれませんが、日本人には曖昧な表現ではなく、はっきりとってほしい。

▶ONE STEP タオさん

日本人の仕事の指示の出し方がわかりにくい。何時まで、これをなど、明確に言ってほしい。「これやってね、急がなくていいよ」と言われると、外国人は「あとでいいなと思う」

日本の会社に入って経験していくとなくなると思う。日本に滞在して長い外国人には日本人と同じ指示でいい。

▶コンディショニングワークス 千本様

はっきり言ってくれたらいいのに、というのはあるようだ

日本人ははっきりいうときつくなるので、オブラートに包む傾向がある。

どこまで言っているのかかわからない、相手が気分を悪くなるのではないかなど思う。

(大阪は“日本の中でも外国”だから少しきついかもですが)

急に外国人同士で母国語でしゃべりだすと、日本人は勘繰る(なんでこんな仕事せなあかんねん、と言われている?)

●斉藤さんは料理を作るなどあるが、教えるときに注意していることや、日本人、外国人の使い分けはあるか。(畑様)

▶辻調理師専門学校 斉藤様

むしろ、留学生だからと差別をすることはしない。逆に日本人の中に入るということを意識してもらうほうがいい。将来就職する場合、本人にとっても、同一に扱ってあげたほうがいい。

さすがに、一番難しいのは、実習は問題ないが、日本の衛生法の勉強が漢字が多く難しい。これはフォローがいる。ただ、吸収力があり、勤勉である。日本人よりも、卒業生は企業して成功しているケースが多い。

●カサカサ、ガサガサなど、抽象的な表現が難しいことがある(畑様)

▶▶辻調理師専門学校 斉藤様

予習をした上で臨む、自分でアクティブに動く。日本人は受け身ではなく、察知して動くことを求める。そういう指導も大事。

▶PLUS1west グェン ティー ゴク ニュン様

ベトナム人、中国人を企業紹介しているが、みんなよく頑張っている。日本語通じないところもあり、コ

コミュニケーションがとれないこともある。

そういうところで、日本人が、ベトナムの情報・文化・習慣を理解していただけたら、ベトナム人に対して寛容に接していただけるとうまくいくのではないか。ベトナム人が全員、日本のマナーなどわかっているわけではない。日本人は早口。関西弁や方言はわからないことがある。それもあり、仕事に慣れるのに時間がかかる。担当者の言いたいことを理解するのに時間がかかる。日本で働くベトナム人の為に、ビジネス日本語や日本マナーなど、そういうセミナーをして教えてあげたいと考えている

▶奈良東病院グループ・近畿社会福祉専門学校 岡田様

N1/2の方、看護師さんが多い

命を預かる業界なので、基本的には正確に、曖昧は問題がある。

研修会を持つ中で、海外の方の管理職の育成を考えている。1400人いるうち30人が海外のスタッフさん。

習慣文化、言葉の問題がある。国をまたいで移動してきている、できる限り、習慣を理解していく、言葉も学ぶ。溝を埋めるというよりも、サポートしていくという考え。

サポーターの核になる日本人を作って、なにかあったときに海外の方が相談できる状況を作っている。

<<第5グループ>>

※私のP Cの通信状況が悪くて所々フリーズしてしまい途中で切れてしまったりと、皆様にはかなりのご迷惑をお掛けしてしまいました。せっかく回答して頂いたのにも関わらず、途中聞けて無いところ多々ある為、ご容赦のほど宜しくお願い申し上げます。

▶香港貿易発展局リッキー様

オンラインで商談会、展示会を継続して実施しているので是非ご興味のある企業様は参加いただきたい。また、8月に大きな商談会を開催している（今年はコロナの影響でオンラインにて実施）。その商談会は大学とも連携して大規模に開催している。その際にインターンシップで留学生の募集も行っている。

使える言語については、日本語がマストで英語もしくは中国語が使える方を優先的に募集している。また、世界各国の企業が集まるため、ごく稀にほかの言語が使える留学生のインターンシップも募集している。その時にならないとわからない。

▶サカイ引越センター後藤様

海外事業部として人財は欲しいものの、一人の人間が現場の作業を経験してから、営業や事務作業にキャリアアップしていくような形での人材を募集している。

→技人国ビザで可能（脇田行政書士事務所 脇田様）※通信状況悪く詳細聞き取れず。

▶辻調グループ 松岡様

飲食関係では特定技能の活用で選択しが広がっているのが事実。我々の業界は特定技能での就職になっていく。

▶脇田行政書士事務所 脇田様

奈良コンさんの留学生では情報処理能力試験をパスできる方はどれくらいいらっしゃるのか。

▶奈良コンピュータ専門学校 国政様

正直ほとんどいない。N1持っていても情報処理能力試験を合格することは難しい。この障壁はなかなか

高い。